



文部科学省

# 技術移転、起業環境整備に係る施策について

科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課  
産業連携推進室 専門官  
田中 佑果

目利き人材育成  
プログラム

# 目利き人材育成プログラム

科学技術イノベーション人材育成部



科学技術振興機構

# 目利き人材育成プログラムの目的と強み

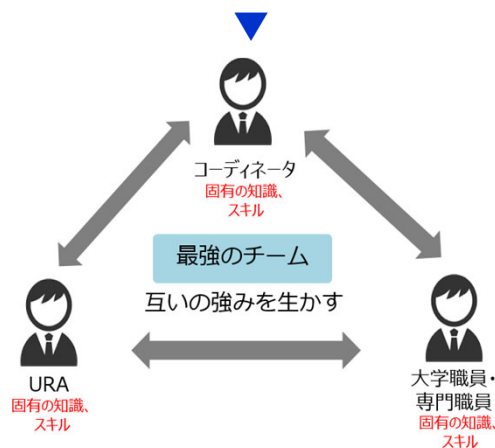
-産学官連携に必要な知識の習得と人的ネットワーク構築のためのスキルアップ研修-

- プログラムの見直しにより、常に時流に沿った鮮度の高い研修の実現
- 成功・失敗例の検証、フィードバックによる実践能力の向上
- 実務に役立つ分析評価ツール等の提供
- 対話型のグループ討議等を通じて人的ネットワークを構築
- 応募の約50%が所属機関や修了生からの推薦 = 受講対象機関における高い信頼性



受講生の業務  
における有効  
度97%以上

講師：第一線で活躍する現役実務者  
受講者：産学官連携業務に従事する方  
会場：JST東京本部別館  
年間開催日数：14日程度



- ・ 全体俯瞰、全体最適の視点の醸成
- ・ 三者が相互理解した上で、それぞれの立ち位置での強みを生かし、弱みを補完、連携する必要性があることの気づきを付与

- 産学官連携活動の一層の推進

コース名	概要
初級 研究推進 マネジメントコース	大学等の研究開発プロジェクトの推進・管理において必要な基礎知識の体系的な習得、産学官連携支援における一連の業務の全体を俯瞰し、次期ステップへの提案までを見据えたプロジェクト推進のポイントを学びます。
中上級 バリュー プロデュースコース	事業化をプロデュースできる人材の育成をめざし、座学講義、ケーススタディに基づく対話型のグループ討議、受講者自身の活動事例を多面的に評価分析することにより、実務能力のスキルアップを図ることを目的としています。
上級 起業環境 整備支援コース	利益相反や事業リスク、資本政策を知り、起業のための環境構築に必要な知識を体系的に習得し、起業について具体的なビジョン（ビジネスプラン）を描くことを目指します。

# 受講生の声

- ・実際にビジネスプランを作ってみることは独学では難しいため、講師がついて体験できる機会は非常に意義深いと思います。
- ・特許検索の考え方や検索方法のみならず、パテントマップ作成にいたる解析テクニクは、どのような研究開発案件に携わろうとも必須といえるほど関係してくるものであり、事業化に至る技術ロードマップにも組み込めるなど、新しい活用方法も知ることができ、活用の幅が広がりました。
- ・事業化シナリオはどのような研究開発テーマにも適用できるものであり、産学連携コーディネータ業務のみならず、自身の今後の研究開発業務にも活かせるものと感じました。
- ・利益相反について多くの時間を使って検討することができたのはとても有益であり、大学や国研等が社会的責任を果たしていないというバイアスをかけられないためにも、きちんとマネジメントすることの必要性・重要性を理解できたことが良かったと思います。
- ・グループ討議を通じて、実際に研究開発型ベンチャーが直面しがちな問題にどう対処するかを検討することができたのがよかったです。各課程で学んだ知識を生かすことができるような事例となっており、知識の定着にも役立ったように思います。

# 目利き人材育成プログラムの流れ～知財について～

## ① 事前課題で特許情報調査を演習 → 知財に関する各種ツールの活用方法

## ② 講義で知財について深掘り

バリュープロデュースコース第3回 久保講師（INPIT理事長）講義資料

知財調査

特許情報調査の方法

技術移転の仕組みの例 (NAIST)

具体的知財戦略において一体何が問題となるのか？

規模に応じた知財経営の考え方

### 1. J-PlatPatを使ってみよう

- はじめに
  - 特許情報の取り出し方、特許検索の仕方について概略を紹介いたします。
- 【使用ツール】J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）
  - 独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）から無料で提供されており、インターネット上で利用できます。
- J-PlatPatを立ち上げてみよう
  - (URL) <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>
  - または「J-PlatPat」と検索エンジンに入力。右図がホームページの画面。
  - \* 詳細な操作方法を知りたい方は、テキスト、動画などの学習用ツールが用意されているので（右図丸囲み）ので、ご参照下さい。

バリュープロデュースコース第3回 増田講師（大阪公立大学）講義資料

いろいろな場面で求められる特許情報

Contents

1. 特許情報を整理する

2. 他社の動向を見る～技術の相関性～

3. 新製品の開発のヒントを探る

2. 他社の動向を見る～技術の相関性～

3. 新製品開発のヒントを探る

令和4年度目利き研修講義資料より引用



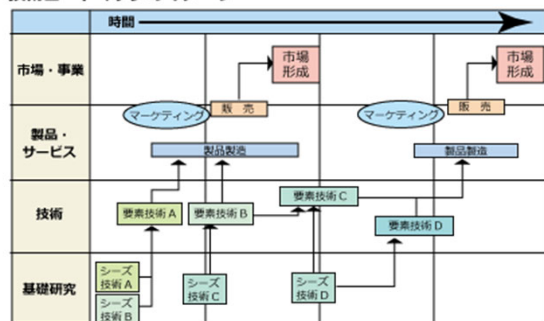


# 目利き人材育成プログラムの流れ～バリュープロデュースコース～

- ・各回のグループ討議で様々な分析評価ツールを用い、具体的な技術シーズをケース事例として分析→とりまとめた結果をグループごとに発表し、受講者全員で共有。

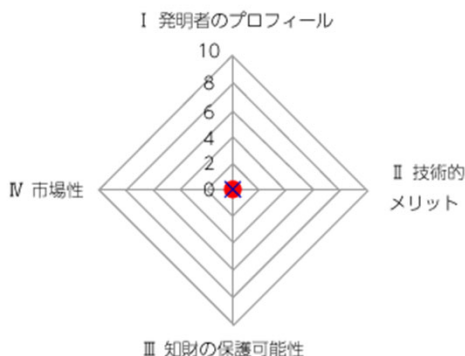
## [ロードマップ]

技術ロードマップのイメージ



出典：経済産業省「アカデミック・ロードマップのご紹介」を改編

## [トリアージ]



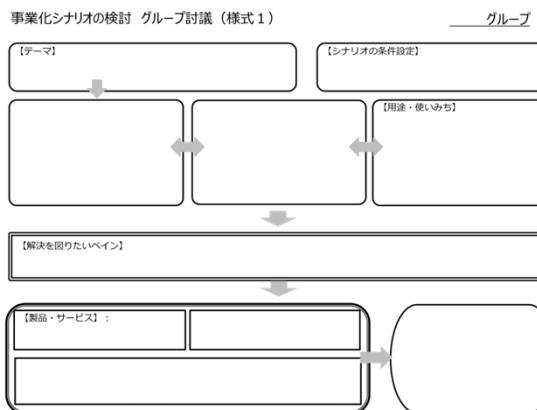
## [S-N変換]

気功性 ↓	表面積大 ↓	軽量 ↓	技術特性 ↓	S (市場)	M (市場)	農林・水産 ↓	都市・交通 ↓	環境・エネルギー ↓	医療・健康 ↓
●	●	●	触媒などを固定する担体	●	●	●	●	●	●
●	●	●	フィルター	●	●	●	●	●	●
●	●	●	吸音材	●	●	●	●	●	●
●	●	●	吸着材	●	●	●	●	●	●
●	●	●	透過材	●	●	●	●	●	●

出典：「新製品・新事業開発の進め方」鈴木剛一郎著 同文館出版

- ・第1回から多面的に検討してきた技術シーズで事業化シナリオを作成→作成したツールを用いてグループごとに発表し、受講者全員で共有→技術シーズをご提供いただいた研究者に各グループの事業化シナリオを講師から報告、講評をいただく。

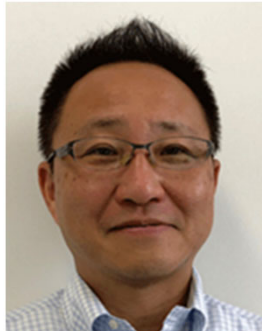
## [事業化シナリオ作成ツール]



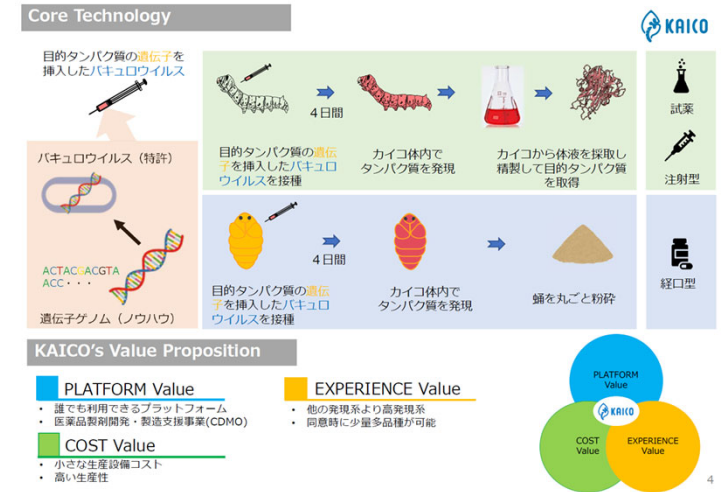
目利き研修HP、令和4年度目利き研修講義資料より引用

# 目利き研修で取り上げたスタートアップ事例の一例

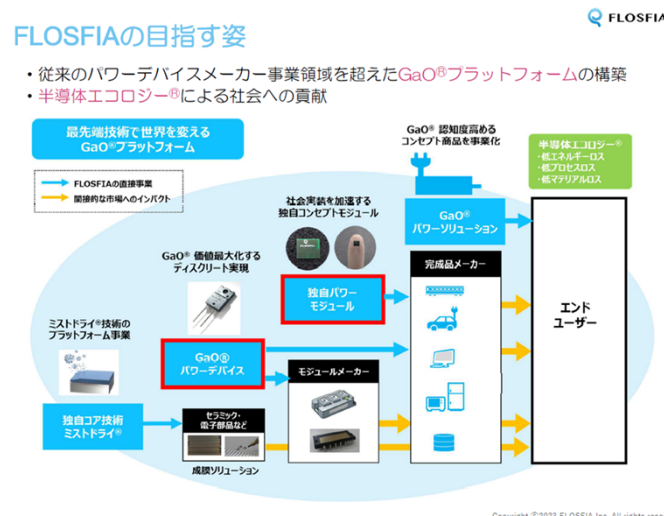
・常に時流を読み、その分野の第一線で活躍する方を講師に迎え、成功・失敗体験を実事例としてご紹介いただく講義スタイル。



KAICO株式会社  
代表取締役  
大和 建太 講師



株式会社FLOSFIA  
代表取締役社長  
人羅 俊実 講師



## GaO®パワーデバイスを実現するビジネスモデル

ビジネスモデルを支える強力な知的財産網により、新規参入を阻止

### 知的財産の獲得に注力

- 出願総数は 600件超
- 既に 200件程度 の権利化に成功。出願後3年以内のものも多く、今後のOA対応を予定→権利の有効期間を最大限活用できる。

- ポイント1 強い基本特許 (物質特許) が成立
- ポイント2 幅広い周辺特許により権利を強化
- ポイント3 グローバルでの権利化



知的財産権制度活用優良企業として 知財功労賞 (経済産業大臣賞) を受賞

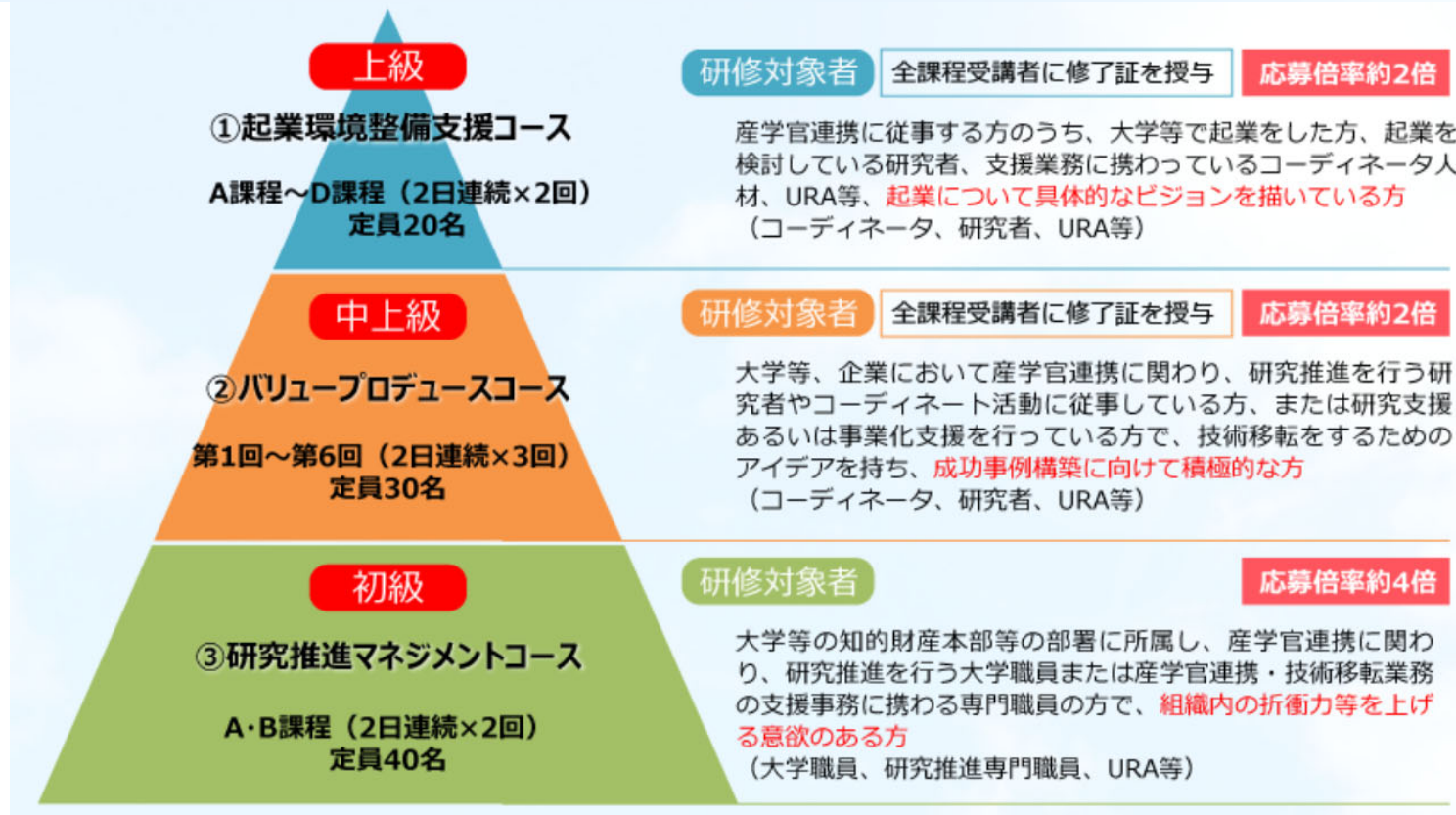
Copyright ©2023 FLOSFIA Inc. All rights reserved

令和4年度目利き研修講義資料より引用



# 令和5年度の目利き研修プログラム（予定）

目利き人材育成プログラムは、基礎から応用までスキルアップの目的にあわせ、3つの研修コースを用意



➤ 公募予定：令和5年5月以降 ※コース等は変更となる場合があります。

➤ 公募情報は、目利き研修ホームページに掲載し、お申し込みも受付いたします。

公募情報：<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/mekiki/koubo/index.html>

【お問い合わせ】 科学技術イノベーション人材育成部 TEL:03-5214-8446 / E-mail : mekiki@jst.go.jp